

7/16 玄葉

## 参政党、秋に改憲案

### 代表の松田氏が表明

参政党の代表を就任した松田洋一衆院議員が15日に東京都内で記者会見し、党内で改憲について議論を始めたとあることを明らかにしました。

松田氏は、「われわれは、『改憲』ではなく『憲改』という立場を取つてこる」と説明。「現行憲法を今あまり絶対変えたくない」として、事実上、改憲の立場を表明しました。一方で、「緊急事態条項は、国民の不当な権利の侵害につながらない」として、国民党が改憲4項目の一つに掲げる同条項創設には反対する姿勢を見せました。

また、9条に関する議論は、「国民が国を守る決意が非常に重要だ。それをなくして、適切な議論はできない」と主張。改憲派が主張す

る「憲法への自衛隊の明記」に対しては、「賛いません」。

## 性暴力相談5万件超

内閣府 前年度比約15%増

察組織としての自衛隊を未来まで固定しているのか。国をするために十分かどうか」と問いかげた上で、「多くの国民の知識を共有してもらいたい、畢竟に国民的な議論を進めた」と語りました。

松田氏は2012年に日本維新的会公認で衆院議員に初当選しましたが、分党に伴って次世代の党的結束に参加しました。今回の参院選では参政党から比例代表で立候補しましたが、当選には至っていません。